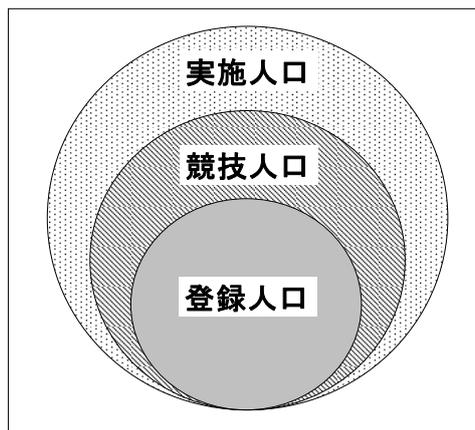


Ⅲ. 調査結果

1. 競技人口と登録制度に関する調査

スポーツの種目ごとの普及状況を示す概念として「競技人口」がある。しかし、その定義は必ずしも明確ではない。実際に把握ないし推計されているのは、登録人口（登録競技者数）と実施人口である。登録競技者数は、文字どおり各競技団体に登録されている競技者の数であるが、市民スポーツイベントとして行われる各競技の大会など、競技団体が参加者の氏名やその数を把握できていないものも少なくない。これとは別に、たとえば笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」のスポーツ実施率の統計に人口を乗じて「スポーツ実施人口」を推計することができるが、この中には、競技者ではない人、たまにそのスポーツを楽しむ人も含まれている。これら「登録人口」「競技人口」「実施人口」の関係を示せば図1のようになる。以下では中央競技団体の回答をもとに、主に登録人口と制度についてみていく。

図1 登録人口、競技人口、実施人口の関係



1-1 登録制度の有無

競技者の登録制度については、回答を得た63団体のうち、登録制度が「ある」団体は57団体（90.5%）であった（表2）。そのうち、個人の登録制度のみある団体が28団体（44.4%）、チームの登録制度のみある団体が2団体（3.2%）、個人・チームともに登録制度がある団体が27団体（42.9%）であった。

表2 中央競技団体の登録制度（n=63）

登録種別	団体数	%
個人の登録制度のみあり	28	44.4
チームの登録制度のみあり	2	3.2
個人・チームともに登録制度あり	27	42.9
登録制度なし	6	9.5

1-2 登録競技者数

表 3 に中央競技団体の登録競技者数（またはチーム数）を示した。野球に関しては、年齢によるカテゴリ（少年野球、高校野球、社会人野球など）、性別によるカテゴリ（女子野球）、使用するボールによるカテゴリ（硬式、軟式）のそれぞれに統轄団体が存在しているため、「野球」を統轄し、登録競技者数の全体を把握している団体は存在しない。しかし、わが国の現状を鑑みるに、競技人口が多いと推測されるため、それぞれの統轄団体の情報を合計し、参考値として記載した。

個人登録者数についてみると、最も多いのがサッカーの 99 万 5,670 人で、以下、バスケットボール（63 万 6,987 人）、ゴルフ（55 万 1,218 人）、ソフトテニス（45 万 8,275 人）、陸上競技（41 万 7,435 人）、バレーボール（41 万 6,273 人）の順となっている。登録チーム数についてみると、最も多いのは、軟式野球（5 万 600 チーム）で、以下、バスケットボール（3 万 4,302 チーム）、サッカー（2 万 8,386 チーム）、バレーボール（2 万 7,312 チーム）の順となっている。登録競技者数と登録チーム数がともに集計されているバスケットボールでは、1 チームあたりの平均登録者数が 18.6 人、サッカーでは 35.1 人と、一般的に試合に必要な人数（5 人または 11 人）の 3 倍以上であった。本調査で個人の登録制度があると回答した 57 団体の登録者を合計すると、525 万 7,113 人であった。登録者数を性別にみると、多くの種目で男性が女性を上回っているが、ダンススポーツとバレーボールでは女性の登録者・チームのほうが多い。

表 3 中央競技団体の登録競技者数および登録チーム数（n=87）

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)全日本アーチェリー連盟	13,394	9,595	3,799
日本アームレスリング連盟	700 [98]	670	30
(公財)合気会	284,950 [2,192]	-	-
(公財)日本アイスホッケー連盟	14,597 [821]	12,794 [748]	1,803 [73]
(公社)日本アメリカンフットボール協会	×	×	×
(一社)日本ウエイトリフティング協会	4,154	3,506	648
(公社)日本エアロビック連盟	1,388 [35]	-	-
日本オーケーゴルフ協会	×	×	×

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)日本オリエンテーリング協会	2,100	1,600	500
(公社)日本カーリング協会	2,454	1,697	757
(公社)日本カヌー連盟	3,880	2,805	1,075
(一社)日本カバディ協会	234	160	74
(公財)全日本空手道連盟	83,785	-	-
日本キャスティング協会	×	×	×
(公財)全日本弓道連盟	×	×	×
(公社)日本近代五種協会	*	*	*
(一社)全日本空道連盟	152	125	27
(公社)日本グラウンド・ゴルフ協会	68 [3,845]	55	13
(特非)日本クリケット協会	×	×	×
(社)日本クレー射撃協会	2,089	2,010	79
(公財)日本ゲートボール連合	*	*	*
(一社)日本健康麻将協会	×	×	×
(一財)全日本剣道連盟	×	×	×
(公財)日本ゴルフ協会	551,218	498,086	53,132
(一社)日本サーフィン連盟	10,152 [1,218]	8,784	1,368
(公財)日本サッカー協会	995,670 [28,386]	941,553 [27,151]	54,117 [1,235]
(公社)日本山岳協会	8,984	-	-
(公財)日本自転車競技連盟	7,983	7,452	531
(公社)全日本銃剣道連盟	25,000	-	-
(一社)全日本柔術連盟	4,500 [300]	4,300	200

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公財)全日本柔道連盟	161,211 [9,125]	132,727	28,484
(一財)少林寺拳法連盟	41,638 [2,846]	30,744	10,894
(公財)日本水泳連盟	130,571 [6,077]	-	-
(特非)日本水上スキー連盟	×	×	×
(一社)日本水中スポーツ連盟	3,050	1,630	1,420
(公社)日本スカッシュ協会	2,118 [143]	1,271	847
(公財)全日本スキー連盟	×	×	×
(公財)日本スケート連盟	7,503	-	-
(公社)日本スポーツチャンバラ協会	×	×	×
国際スポーツチャンバラ協会	×	×	×
(公財)日本相撲連盟	×	×	×
(公財)日本セーリング連盟	10,551	8,726	1,825
(一社)日本セパタクロー協会	522 [35]	311	211
(公財)日本ソフトテニス連盟	458,275 [14,842]	-	-
(公財)日本ソフトボール協会	126,941 [9,733]	85,286 [5,486]	41,655 [4,247]
(公財)日本体操協会	×	×	×
(公社)日本ダーツ協会	662 [95]	-	-
(公財)日本卓球協会	327,132	-	-
(公社)日本ダンススポーツ連盟	16,386	8,172	8,214
(公社)日本チアリーディング協会	×	×	×
(公社)日本綱引連盟	×	×	×
(一社)全日本テコンドー協会	2,906	-	-

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公財)日本テニス協会	11,877	7,500	4,377
(一財)日本ドッジボール協会	×	×	×
(公社)日本トライアスロン連合	30,000	-	-
日本ドラゴンボート協会	1,375 [55]	1,300 [52]	75 [3]
(公財)全日本なぎなた連盟	*	*	*
(公財)全日本軟式野球連盟	[50,600]	[50,600]	-
(一社)日本バイアスロン連盟	158	148	10
(一財)日本バウンドテニス協会	×	×	×
(公社)日本馬術連盟	6,284 [643]	-	-
(公財)日本バスケットボール協会	636,987 [34,302]	366,958 [17,727]	270,029 [16,575]
(公財)日本バドミントン協会	275,250	-	-
(公財)日本バレーボール協会	416,273 [27,312]	146,131 [10,092]	270,142 [17,220]
(公社)日本パワーリフティング協会	×	×	×
(公財)日本ハンドボール協会	×	×	×
(公社)日本ビリヤード協会	×	×	×
(公社)日本フェンシング協会	×	×	×
(公社)日本武術太極拳連盟	*	*	*
(一社)日本フライングディスク協会	4,630 [221]	3,154 [141]	1,476 [80]
(公社)日本ペタンク・ブール協会	×	×	×
(公財)全日本ボウリング協会	10,486 [806]	7,667	2,819
(公社)日本ボート協会	9,157 [533]	6,356	2,801
(一社)日本ボクシング連盟	×	×	×

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)日本ホッケー協会	[478]	[321]	[157]
(公社)日本ボディビル・フィットネス連盟	2,691	2,393	298
(一社)日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟	153	113	40
日本マウンテンバイク協会	1,000	850	150
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会	17,288 [193]	15,737	1,551
(一財)全日本野球協会	*	*	*
(公財)日本野球連盟	×	×	×
(特非)日本ライフセービング協会	*	*	*
(公社)日本ライフル射撃協会	7,213	5,596	1,617
(公財)日本ラグビーフットボール協会	92,643 [3,019]	89,071 [2,964]	3,572 [55]
(公財)日本陸上競技連盟	417,435 [15,322]	270,000	147,435
(公財)日本レスリング協会	8,865 [335]	7,254 [330]	1,611 [5]
(特非)日本ローラースポーツ連盟	430	280	150
(参考)野球 ^{※1}	[59,083]	-	-

* : 登録制度なしと回答

× : 未回収

※1 野球は以下の統轄団体の登録チーム数の合計

日本野球連盟、全日本大学野球連盟、日本高等学校野球連盟

日本リトルシニア中学硬式野球協議会、日本少年野球連盟

九州硬式少年野球協会、全日本少年硬式野球連盟

日本ポニーベースボール協会、日本女子野球協会

全国高等学校女子硬式野球連盟、全日本還暦野球連盟

全日本軟式野球連盟、全日本大学軟式野球連盟

全日本大学準硬式野球連盟、全国専門学校野球連盟

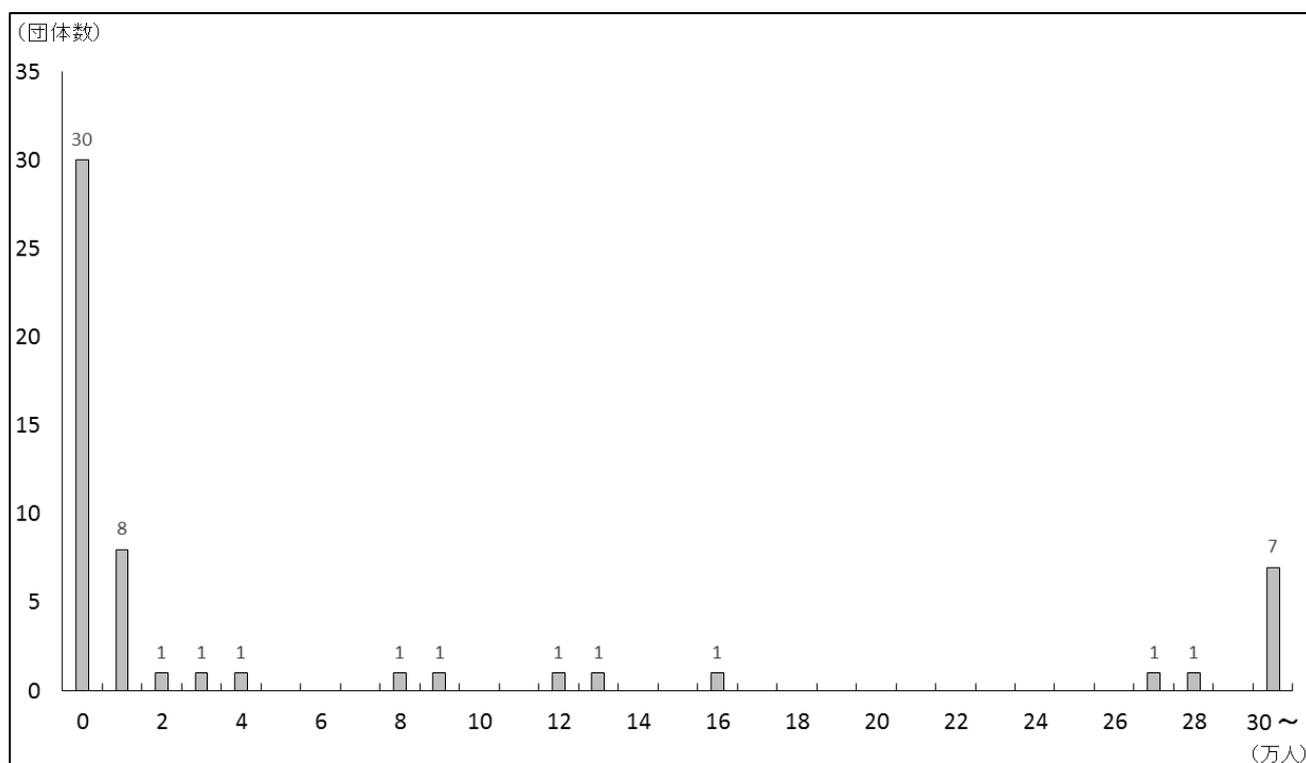
全日本女子軟式野球連盟、全日本大学女子野球連盟、日本中学校体育連盟

1-3 登録競技者数の分布

個人登録制度のある 55 団体を対象として登録競技者数の分布をみた（図 2）。

登録競技者数の平均は 1 団体あたり 9 万 5,584 人であるが、最小 68 人から最大約 99 万人までとかなり大きな差があった。中央値は 8,865 人、第 1 四分位は 2,109 人、第 3 四分位は 6 万 2,711 人であった。また 1 万人単位での最頻値は 1 万人未満（30 団体）であり、本調査で登録競技者数の回答が得られた 55 団体の過半数を占めた。さらにそのうち、1,000 人未満が 9 団体、1,000 人以上 5,000 人未満が 14 団体と、登録競技者数が 5,000 人に満たない規模の団体（23 団体）が全体の 4 割を占めている。

図 2 中央競技団体の登録競技者数の分布



注) 登録競技者数は万人単位。したがって、「0」は 9,999 人以下を示す。